

講演企画委員会からのお知らせ——「スペシャル・セッション」のテーマ募集

1995年度秋季大会（大阪，期日未定）におけるスペシャル・セッションのテーマと世話人を募集します。スペシャル・セッションにおいては，世話人と講演企画委員会との協議のもとに，通常のセッション編成の枠にとらわれない企画ができます。具体的な実施方法については「天気」1994年2月号（78ページ）をごらん下さい。なお，申込テーマの重複や総数によっては講演企画委員会で調整をする場合もありますので，ご了承ください。

応募される方は，下記の事項を期限内にお知らせ下さい。

1. セッションのテーマ
2. 趣旨説明（400字程度）
3. 世話人およびその連絡先（予稿コピーの送付先住所を明記のこと）

以上は「天気」5月号または6月号に掲載されます。

申込先：〒305 茨城県つくば市長峰1-1
 気象研究所 予報研究部内
 講演企画委員会（藤部文昭）

申込期限：1995年4月20日（木）必着



第18回極域気水圏シンポジウムのお知らせ

南極域では，南極観測における主要な研究計画として，「氷床ドーム深層掘削観測計画」が進められており，第36次観測隊はドーム基地に越冬して深層掘削を開始しようとしております。また昭和基地では，「南極大気化学観測計画」が実施されております。北極域ではスバルバル，グリーンランド等で地球科学に関するさまざまな観測が実施されております。一方国内では，これまでに得られた氷床コアの分析とデータ解析，衛星データの解析等を始めとして，南極，北極域の資料を用いた多方面にわたる研究が続けられております。

今年も南北両極域を中心とした気象学，雪氷学，海洋学に関連する研究成果と今後の研究展望等に関するシンポジウムを開催いたします。ふるって御参加くだ

さい。

なお今年には北極関連の講演を中心に特別セッションを設ける予定です。

記

日時：平成7年7月18日（火）・19日（水）

会場：国立極地研究所・講堂

発表申込締切：5月8日（月）必着

連絡先：国立極地研究所 気水圏シンポジウム係
 古川晶雄

〒173 東京都板橋区加賀1-9-10

Tel：03-3962-5580

Fax：03-3962-5719

E-mail：glacier@nipr.ac.jp



シンポジウム'95

「明日をめざす科学技術」

—— 科学技術振興調整費の成果を中心として ——

日時：平成7年3月14日（火）～16日（木）

後援：日本工学会

会場：3月14日（火）

日本消防会館（東京都港区虎ノ門2-9-16）

詳細は下記にお問い合わせ下さい。

3月15日（水）・16日（木）

事務局：科学新聞社

KKR HOTEL TOKYO

〒105 東京都港区浜松町1-8-1

（東京都千代田区大手町1-4-1）

☎ 03-3434-3741 FAX 03-3434-3745

主催：科学技術庁



都市の熱環境に関する学際シンポジウム

都市における人工的な空間の形成は都市の熱環境を自然の姿から遠いものにしてしまっています。このような都市の熱環境を本来の自然の姿に回帰させるためには、建築物、道路、緑地、水辺空間といった広義の都市のインフラストラクチャのあり方を考え直し、地表面の被覆と形状の改善、都市内外の大気との交換の促進、人工排熱の削減を図っていく必要があります。

このような認識の高まりとともに、土木工学分野でも近年熱環境に関する研究が環境システム、水理、環境工学（旧衛生工学）部門で活発化してきています。一方、都市の熱環境の問題に関しては、気象学・地理学、建築学の分野を中心にそれぞれの視点からの研究成果が挙げられてきています。具体的にインフラストラクチャを見直して都市の熱環境を望ましいものにしていくためには、土木分野と各分野の研究の交流を図り、それをお互いの研究に反映させていくことが必要といえるでしょう。そこでこれらの分野の研究者の方をお招きし、学際的なシンポジウムを以下の通り開催いたします。奮って御参加下さいませようご案内いたします。

記

1. 主催：土木学会（環境システム委員会、水理委員会、環境工学委員会）
2. 開催期日：1995年4月20日（木）13：00～17：30
3. 会場：土木学会土木会館2階/AB会議室
4. 定員：60名

5. 参加費：2000円
6. 申込方法：参加御希望の方は、シンポジウム名、氏名、勤務先・職名、連絡先住所・電話番号を明記し、葉書またはFAXにて下記までお申し込み下さい。
7. 申込締め切り期日：1995年4月6日（木）
8. 申込先：〒160 東京都新宿区四谷1丁目無番地
（社）土木学会環境システム委員会
TEL 03-3355-3441（代表）
FAX 03-5379-0125

9. プログラム

- | | |
|-------------|--|
| 13：00～13：10 | 開会と趣旨説明 |
| 13：15～14：25 | 「気象学の立場から見た都市熱環境」
筑波大学地球科学系 木村富士男 |
| 14：25～15：40 | 「建築学の立場から見た都市熱環境」
東京工業大学総合理工学研究科
梅干野（ほやの）晃 |
| 15：40～16：00 | 休憩 |
| 16：00～16：30 | 「土木工学分野での都市熱環境研究の動向」
東京大学先端科学技術研究センター
花木啓祐・一ノ瀬俊明 |
| 16：30～17：30 | 「都市インフラストラクチャの表面被覆と熱収支」
埼玉大学工学部 浅枝 隆 |
- 閉会

者たちへ（水沢の田舎からの伝言）」を催した。これにはほぼ全員が参加したが、一部に参加が強制であると誤解があったのは残念であった。内容は近代の天文学・現代の宇宙科学・これからの環境科学における一観測所の位置づけを中心としたものであり、翌日の講演にもつながる有意義なものであった。

3日目の講演終了後に反省会を行い（その場では特に意見なし）、次回の主管を北海道大学に依頼して閉校した。

3. おわりに

今回の「夏の学校」の開催にあたり、当学会の講演企画委員会から補助金を戴きました。また、当学会事務局には開催の広報、補助金の受領をはじめ色々とお世話になりました。ここに記して感謝の意を表します。なお、宿泊人数の制約から、一部の会員には申込みをお断りせざるを得ませんでした。お詫びすると共に、次回以降の積極的な参加をお願いします。



海洋理工学会 平成7年度春季大会ご案内

会 期：平成7年4月4日(火)・5日(水)
会 場：学士会館（東京都千代田区神田錦町3-28）
参加費：一般3,500円、一般学生2,000円、正会員1,500円、学生会員1,000円(いずれも要旨集1冊を含む)

4月4日(火) 9:30~17:40
[1] 公開講座 9:30~12:00
[2] シンポジウム 13:00~17:40
[懇親会] 18:00~19:30

4月5日(水) 9:30~17:00
[一般講演] (口頭発表およびポスターセッション)
(1)海洋計測, (2)情報処理, (3)データ解析, (4)モデリング, (5)その他

詳細に関するお問い合わせは事務局まで
事務局：〒424 清水市折戸3-20-1
東海大学海洋学部内
TEL 0543-34-0411 (内線3424)

関数で表されるというもので、相似則をいう。新しい知見であり、読者の議論を待ちたい。

終章は、全地球にわたる大気の流れを易しく説明して、我々が受ける季節変化を主とした気象現象との絡みを示している。更に地球流体としての海洋との相似性を浮かべつつ海洋大循環にも触れている。

改めて全体を通してみると、天気予報につながる総

観気象の解説がほとんど無いのに気がつく。これは著者のとるスタンスであろう。また雲と降水に関する項も無いことに気がつく。この現象は、物理学としてはかなり「川下」にあたるものであり、割愛されたと思われるが、中小規模擾乱が盛んに研究され、また身近な現象が多いだけに何らかの形で入れて欲しかった。

(防衛大学校 内藤玄一)



助手公募

1. 公募の対象

- ・北海道大学大学院地球環境科学研究科大気海洋圏環境科学専攻
 - ・気候モデリングまたは大循環力学講座の助手1名
- 大気または海洋のモデルによる研究に重点を置きますが、必ずしもそれにこだわらず、広く大気・海洋や気候に関する研究を意欲的に行う方の応募を歓迎します。コンピュータやネットワークに関して習熟していれば、なお結構です。

2. 兼任時期 決定後、できるだけ早い時期。

3. 応募資格

平成7年4月現在、修士以上の学位を有する者、又はこれと同等の学識を有する者。

- ### 4. 提出書類
- (1) 履歴書
 - (2) 研究業績リスト
 - (3) 研究・教育に対する抱負
(A4版1～2枚)

他薦の場合

- (4) 推薦書

自薦の場合

- (4) 所見を伺うことのできる2～3名の方の氏名と連絡先
- (5) 推薦書を添えてもよい

いずれの場合も選考の参考になるような主要論文等があれば、コピーを同封して下さい。

5. 書類提出期限 平成7年4月10日必着

- ### 6. 書類の送付先 (封筒には「助手応募」と朱書きし、簡易書留で郵送のこと)

〒060 札幌市北区北10条西5丁目
北海道大学大学院地球環境科学研究科大気海洋圏環境科学専攻
松野 太郎 (宛)

7. 問い合わせ先

山崎 孝治 (TEL: 011-706-2361)
FAX: 011-726-6234 (専攻秘書室)